

令和7年度 第4回江南市運動部活動の地域展開に関する推進委員会議事録

開催日時：令和7年12月15日（月）午前10時～午前11時38分

開催場所：KTXアリーナ 2F 会議室3

出席者：村 良弘委員、岩田正武委員、西浦達郎委員、高橋 伸委員
山田尚代委員、櫻澤弘章委員、安藤善啓委員、植島禎一委員
横山史明委員 委員計9名
高田教育長 松本教育部長
事務局

欠席者：なし

傍聴者数：なし

委員長あいさつ

教育長あいさつ

議題

- (1) 地域展開までの今後の検討等とスケジュールについて（案）
- (2) 休日の運動部活動に関する指導員アンケート結果と指導員と部活動顧問との打合せにおける今後の取り組み
- (3) その他

会議資料

- 資料1 地域展開までの今後の検討等について（案）
- 資料2 休日の運動部活動の地域展開（地域クラブ活動）実施スケジュール（案）
- 資料3 休日の運動部活動に関するアンケートの実施結果について（報告）
- 参考資料1 令和7年度江南市地域クラブ活動試行実践実施状況
- 参考資料2 古知野中学校入学説明会でのご意見等

議事内容

- 議題（1）地域展開までの今後の検討等とスケジュールについて（案）

○委員長

議題1の地域展開までの今後の検討等とスケジュールについては、実行部会でまとめていただいた案を提出いただいている。本日委員からご意見いただき、推進委員会として承認していくことまでお願いしたいと思う。

○事務局

資料1、資料2により説明

資料1は、令和8年度2学期からの地域クラブ活動の開始に向けての諸課題について、これまで検討した内容について、具体的な進め方とその実施の予定時期について案をまとめたものである。

検討の内容は、すでに推進委員会、実行部会でご了承いただいているので、検討内容の具体的な進め方に、より具体的な内容を記載した。

スケジュール作成のため、いつから実施するか案を記載している。

表中の付番は、資料2のスケジュールと内容の照合ができるよう付けている。

実行部会での協議を反映した内容としているが、本日、委員からご意見をいただきご承認いただければ、これを今年度の検討の成果として教育委員会へ報告していく予定としている。

それぞれの課題ごとに資料の説明をしていく。

課題1 生徒の多様な活動の創出については、事務局とスポーツ協会・スポーツ推進委員・スポーツ少年団等、学校の意見を聞きながら、具体的な種目と指導員の選定及び確保を進める。令和9年度からの実施を予定する。

アンケートで要望のあった種目の追加等については、スポーツ団体及び学校からご意見をいただき、種目選定と指導員の確保について、ご協力いただくこととしていきたい。

令和8年度は、令和5年度から本年度までの3年間の試行実践で、取り組んできた成果として、10種目でのスタートと種目ごとの活動が無事実施できるよう注力していく。新種目の選定は、学校で実際に休日の運動部活動がなくなり、それに伴う様々な問題を令和8年度の活動と並行して、学校とともに整理をして令和9年度からの実施を予定していきたい。

課題2 持続可能な社会活動の創出については、持続可能な協働活動の構築のため、スポーツ団体・市内企業等に地域クラブ活動の指導員派遣の人的支援、所有施設の無償提供などの物的支援、活動費などへの経済支援等のサポート内容の説明をするとともに、地域クラブ活動への協力を依頼する。これは、令和8年4月教育委員会の報告後に動きたい。

地域クラブ活動を持続可能な地域活動としていくため、スポーツ団体に加えて、企業等にも周知し、ご理解と各種のサポートをいただき、地域で子どもを育てるための協働活動としていきたいと考える。

○委員長

確認だが、令和8年2学期からの地域クラブ活動は、現在試行実践を行っている10種目に限定してスタートさせて、新種目の追加等については、令和9年度からの実施を予定することでよいか。

○事務局

令和8年度中は10種目で実施していきたい。年度中にスポーツ団体や学校と協議、相談をさせていただき、指導員の確保等を含めて検討して、実施可能な新種目を選定したうえで令和9年度からの実施を予定していく。

○委員

実施予定の10種目以外の種目がやりたい子どももいると思う。市で種目の立ち上げ等は大変な仕事のため、市の管理下では無い、現在活動しているクラブ等の情

報提供をしていく方法もあるのではないかと。

○事務局

令和8年度から、スポーツ協会等の団体とも相談をして、指導可能な種目の地域クラブ活動への協力をお願いする予定をしている。

○委員長

中学校運動部活動にあつて、令和8年度地域クラブ活動として実施できていない種目は何か。

○事務局

水泳とハンドボールがある。

○委員長

地域クラブ活動へのサポート等を企業等に依頼することについて、何か目安はあるのか。

○事務局

企業等については、KTX 株式会社を始めとする市内企業及びJA愛知、UFJ銀行等の金融機関に周知していきたいと考えている。地域社会での貢献に力を入れている企業が増えてきている。依頼をしていくリストについては、委員会で報告してご意見をいただきたい。

○委員長

特に物的支援、経済的支援ということになるのか。

○事務局

企業として人的支援は難しいと思う。物とか経済支援となるのではないかと考えている。

○委員長

前回の会議でもユニフォームの話が出たが、市で賄うのか個人負担とするのか、という判断もあるが、支援をいただければ、そのような費用に充てることもできる。早く動くことができれば、4月の教育委員会への報告前でも話をしていけばいいと思う。

○委員

JCもいろいろな活動を活発にしている。声をかけることが可能であれば、候補としてもらえばよいと思う。

○委員長

次の課題の説明に移りたい。

○事務局

課題3 指導員の確保と育成について、地域クラブ活動指導員と学校との継続的な協力体制について中学校と連携をしていく。参加希望者の増により活動場所を増やすことを想定して、教員の兼職兼業や学校部活動指導員の協力を依頼する。活動の状況は事務局及びコーディネーターが適宜巡回して、指導員との情報共有を図る。令和8年度実施していく。

指導員の確保については活動を継続していくうえで、非常に重要な点となる。再度の周知、募集を進めるため、KTX アリーナ事務所窓口において掲示物で案内していくこと等、いろいろと方法を考えていきたい。各スポーツ団体にも指導者登録いただくよう、働きかけていく。また、活動の推進については、学校との連携を十分に図ること、また、学校内でこの取り組みを十分理解いただくことの協力をお願いしていきます。指導員との指導方法、大会への参加、生徒の情報等を共有していきたいと考えている。実際に活動している子どもの状況や指導状況を、確認し、問題がある場合の対応ができるよう、適宜、事務局とコーディネーターが協力して、巡回していく。

また、市が認定する地域クラブ活動とするため、主旨を理解し、指導方法・危機管理・大会引率を可能とする指導員資格研修等について年1回以上、市主催の研修を受講することを義務づける。地域クラブ活動開始後についても指導員と学校部活動顧問教諭による情報共有を図る。

指導員に対して市が主催する研修について、年複数回の開催を予定し、指導員の受講を義務付けていく。その中で、種目によっては、大会参加のための引率をするための指導員資格が必要な場合もある。その資格をとるための研修を考えていくが、予算計上が難しい費用が必要となる場合は、学校と相談して、教員のご協力をいただくことも考えたいと思う。また、前回の推進委員会で参考として配布した、国の「地域クラブ活動の推進等に関する調査研究協力者会議」の検討を踏まえて、国の総合的なガイドラインが今月発表される予定であるが、今後、地域クラブ活動の認定制度を設けていく方向となるため、市の活動の主旨を理解したうえでの指導方法となるよう、指導員には理解を求めていく。なお、指導員の採用及び研修に関しては、各種ハラスメントの禁止や来年度施行予定の子ども性暴力防止法の考慮も含めていく必要もあると考える。子ども性暴力防止法は、来年12月25日施行予定であるが、制度開始前から、指導員採用予定者について誓約書等で性犯罪の前歴の有無の確認をすることが示されている。江南市で指導員設置規程の中で、誓約書の書式を整備したい。江南市、教育委員会の職員採用に関わってくると思うので、単独で判断せず連携して、情報を集めて対応していきたい。

課題4 地域クラブ活動の大会参加について、令和8年度2学期からの大会は地域クラブで参加することを原則とするが、中体連主催大会については方針が定まった後の対応とする。練習の成果と活動仲間との連帯を醸成するため、諸大会には地域クラブ活動での参加機会を持つ。大会参加等への引率について学校との調整をしていくとともに、参加費・旅費等の負担については、予算措置を含めて検討をする。このことは、令和8年度2学期から学校と調整をしていくこととする。

大会参加については、中体連の情報、また、中学校の動きがそれぞれ違うことを鑑み、教育課及び指導主事に協力をお願いし、情報を集めて相談していきたい。また、令和9年度の夏の大会からを視野に入れて、中体連大会以外の大会への参加機会を持つこと、参加するために必要な旅費等の予算計上を考えていきたい。

○委員長

中体連大会の方針については、種目毎に中体連側で決定されていくので、情報を収集していくよう。

指導員について、小学校教諭にも兼職兼業で協力していただくことは可能か。

○委員

中学校のように部活動の繋がりはないが、情報がいただければ学校としては可能であると思う。

○教育長

現状、既に種目によっては小学校教諭に協力をいただいている。情報連携は個別には行っていると思うが、小中学校長会としても周知していきたい。ただし、兼職兼業については本人の意志だけでなく、学校運営上のバランスをとって慎重に進めていきたい。

○委員

説明にあった性暴力防止法についての犯罪の確認について考慮していくことで安心している。法の施行前の段階では自己申告で、施行後は、こども家庭庁に照合をとって確認していくということになるのか。

○事務局

3月にマニュアルが出る予定なので、それを確認してからになる。4月からの試行実践では、指導員から誓約書をいただくことで対応するしかないと考える。その後については、教育委員会、本庁から情報をいただき、統一した動きとしていきたい。

○委員

性犯罪が身近な問題となってきていると感じている。こども家庭庁のガイドラインに沿って、間違いのない対応をとってもらいたい。

○委員長

大会参加における諸費用の負担について予算措置を含めて検討するとあるが、具体的なイメージは持っているのか。

○事務局

予算措置については、令和8年度当初予算の編成時期であるが、当初予算に含めるか、補正予算で対応するかを検討している。教育課では、学校から大会に出る旅費や参加費等が必要な時のために補助金交付要綱があるので、それを基にして地域クラブ活動で要綱等を設けていくことを検討していく。

○委員

指導員としての登録料は必要となるのか。国の方向性は出ているのか。

中体連の場合の指導者登録及び登録料はどうなっているのか。

○事務局

現在、国のガイドライン等に具体的には示されていない。現在、中体連では指導者登録はしていない。教員の身分で指導を行っている。

○委員

今後、兼職兼業で教員が地域スポーツクラブ活動の指導員となれば、登録費用が必要となってくるのではないかと考えている。

○事務局

スポーツ協会の大会では、種目によってライセンスが必要となる場合がある。現在は、どのような大会に参加していくかも決まっていない。中体連では、おそらくそこまでの決まりは無いと考えている。事務局から情報提供をしていく予定であるが、費用の予算を計上していくか等の考えは持っていない。

○委員長

中体連の負担金を各市町が支出しているが、今後の動きの情報はあるか。

○教育長

中体連については、令和9年度に東海大会があり、今後のことはまだ不明である。中体連の方向性が定まらないと議論ができない。

○委員長

次の課題の説明に移りたい。

○事務局

課題5 地域クラブ活動についての周知と理解促進について、入学説明会の中で保護者及び児童に対して周知を行う。試行実践、地域クラブ活動の見学会、体験会を計画・実施して、活動内容・指導方法を確認したうえでの参加を促す。

入学説明会での周知は11月13日古知野中学校で実施し、他の4校は1月に実施する。実際に地域クラブ活動を見て、入部のご判断いただくため、今年度2月、3月で予定を組んで見学会の実施し、令和8年度は、体験会を含めて設定していく予定である。

令和8年度の募集については、種目ごとに活動の内容、指導員の横顔や指導方法がわかるよう工夫し、アピールできるような要項・チラシを作成して生徒の参加意欲の向上を図るものとするよう計画している。

また、5中学校の合同で拠点校での活動を原則としているが、種目により参加希望者が多い場合は、活動場所を複数とすることとする。スポーツ団体、兼職兼業の教員等の指導員登録を進め、指導方法の確認を行う。活動場所は原則として中学校施設としているが、各種目で計画する練習内容を鑑み、事前申請のうえスポーツ施設等の利用を可とする。明確な理由があり、有料施設で活動する場合は、事務局で予算確保をする。

このことについては、一部実施中であり、令和8年度地域クラブ活動で順次実施していく。

現在、種目によっては、学校施設で活動せず、無料の施設での活動をしている場合もあるが、有料施設の利用をする種目については、事前申請のうえ利用を可としていくことも考えている。利用料については、予算計上をしていくか、または、利用する種目ごとの参加料に含める可能性についても考えていく。

活動場所への移動については、これまで同様、各自での移動をお願いする。期間を定めて活動場所のローテーションを実施すること等、参加者の利便性を考慮していく。移動のための交通費補助等の支給は、予算、現在の交通網、補助方法等を含めて難しい問題のため、今後の検討とする。

保護者からの要望が大きかった活動場所への移動の問題については、現行どおり各自での移動をお願いすることとするが、参加者状況を確認して、期間を定めて活動場所をローテーションする方法等により、参加者の利便性を図りたい。交通費の補助等については、今後の検討としたい。

緊急時・トラブルに対応するため、関係者間を繋ぐ緊急連絡網の整備を行う。熱中症等の異常気象の際は、生徒の体調を第一として、活動の中止を含めて基準に沿った活動の対応を行う。緊急対応の指導員研修を計画、実施する。

課題6 受益者負担の範囲については、令和7年度試行実践では参加費1回500円を徴収しているが、種目ごとに必要経費を積算し適正な参加費用を算定する。スポーツ保険、ユニフォーム等の負担についても他の自治体の例を研究したうえで、負担の範囲を決定していく。

負担額の考えについては、保護者アンケートを実施して可能負担額の検討材料とする。このことについては、令和8年度は参加費1回500円、スポーツ保険代は公費負担とするが、令和9年度からの見直しを実施していく。

受益者負担の考えと公的支援の拡大については、国のガイドラインを確認して検討していくことになる。令和8年度は、今年度同様の参加費1回500円、スポーツ保険代の公費負担を継続するが、令和9年度に向けて、保護者アンケートを実施し、考えを聞くとともに、スポーツ保険代及び種目ごとに適正な参加費用を算出し、負担額の見直しを検討していく。着用するユニフォームも検討に含めるが、現状ではユニフォームは、個人負担とする自治体が大半である。

困窮家庭への助成は必要であるため、対象を要保護・準要保護世帯とし、参加費のみ免除とする。保護者へは参加募集時に助成内容の周知と対象世帯の確認についての同意をいただくこととし、他課と情報共有を行い対象者の確認を行う。助成は令和8年度2学期から実施していくこととする。

困窮家庭への助成については必要であるため、対象生徒は、令和8年度2学期から、参加費のみを全額免除としていくことを実行部会においてまとめた。

○委員長

活動場所のローテーションの実施については、中学校としては可能か。

○委員

調整していけば可能と考える。

○委員

保険では、移動の間の事故等も責任の範囲に含まれているか。

○事務局

スポーツ安全保険に加入しており、移動の際も補償対象となっている。

○委員

参加費の徴収について、事務局の事務負担軽減のため、例えば半年ごとに先払いとする等の方法に変更するということは出来ないか。

○事務局

行政が運営主体であるため、欠席等の場合の返金処理をせず、指導員に出席確認をお願いして確実に出席された分のみ請求をする方針であり、今後も、その方法を継続する。

○委員

入学説明会を利用して保護者への周知はしているが、スポーツ団体や、市民に対しての周知、説明があまりされていない。広報等を利用して行っていく等の工夫を考えて欲しい。

○委員長

令和9年度から参加費の見直しは検討するとのことだが、種目ごとに変えていくという考えか。

○事務局

そう考えている。必要な物品等が種目毎に違うため、一律500円の参加料では運営が厳しい面もある。指導員との協議を踏まえて精査、積算したい。このことについては、保護者に可能な負担額を聞くアンケートをしていく。また、国のガイドラインに受益者負担額の範囲を示すことが記載されているため、その内容についても考慮する必要がある。結果、これまでと同額となるかもしれない。

○委員長

最後のその他の課題について説明を。

○事務局

その他の課題として、地域展開運営主体については、当面の間は江南市が運営主体として実施するが、他の運営主体の設立等も検討材料としながら市が運営していく。

参加対象生徒の範囲については、市立中学校生徒は学校を通じて募集をするとともに、ホームページにて対象を市内在住の中学生とすることを周知する。応募についても、2次元コードを貼付する簡潔な方法で行う。

参加対象生徒は、市内在住の中学生を対象として、ホームページ等にて周知し、簡潔な方法で応募できるようにしたい。

○委員長

教育委員会が主体となって実施していく点で、何か課題はあるか。

○事務局

この取組について今後も学校で前向きに協力いただき、事務局と連携を保って進めていくことが必要であると考えている。

○委員長

昨年度までスポーツクラブ江南が主体で実施してきたものが、教育委員会が主体となったことで保護者にとっては安心感を持たれているかもしれない。いずれは、新しい運営主体とすることも視野には入れていくことになると思うが、当面は教育委員会を主体として進めていく。そのうえでも、事務局の人的確保が必要となるので、予算確保等の配慮をお願いしたい。

○事務局

令和8年度2学期からの本格実施後にいろいろな課題が散見されてくると思う。また、新規種目の選定や文化部活動の地域展開についても検討していく必要がある。課内で人員を確保して地域展開のグループを設けることも考えていきたい。

○委員長

それでは資料2の説明をお願いしたい。

○事務局

資料2の実施スケジュールについては、資料1で説明した内容について、設定した区分ごとに、令和8年1月から令和8年度末までの、おおよその実施時期を割り当てた。実行部会の中で、中学校内で教員にこの取組について、十分理解いただき協力をいただくことを明記して欲しい、との意見をいただいた。事業の進捗によっては、大きくスケジュールを変更せざるを得ないことも出てくる。

○委員長

指導員の協力としては、中学校教員に限らず、小学校教員の協力もお願いしていくこととしていく。

それでは、資料1の地域展開までの今後の検討等について、及び資料2のスケジュールについては、この案のとおり承認いただくことでよいか。

○委員一同

承認する。

○委員長

次の議題に移る。議題(2)について、事務局から説明をお願いしたい。

議題(2) 休日の運動部活動に関する指導員アンケート結果と指導員と部活動顧問との打合せにおける今後の取り組み

○事務局

資料3により説明

地域クラブ活動開始に向けての課題整理のため、今年度試行実践の指導員に対してアンケートを実施した結果をまとめた。

行政・学校・指導員が連携していくことの一環として、10月にそれぞれの種目別指導員と学校部活動顧問及び行政で打合せ会を実施した。

打合せ結果による今後の取り組みとしては、いただいた主な意見で、・生徒の居場所づくりという方針に相反する、生徒の上手になりたい、試合で勝ちたいという思いがある。・学校部活動の大会出場、大会優勝という目標を地域クラブも継承してほしい。・毎週3時間の練習では試合で成果を発揮出来ない。・地域と学校が連携し、情報共有していきたい。・中体連主催大会をはじめとする各大会への参加はどうか。・大会参加に伴うユニフォーム等の財源確保の検討。・参加生徒の増員に伴う指導員の確保及び活動場所の確保。について、順次検討していきたい。

今後の取り組みとしては、・ロードマップ的なものを作成し、目標、スケジュールを可視化し、関係者間で共有する。・指導員が学校部活動に出向き、地域クラブ活動をPRする。また学校部活動が部活動の一環として地域クラブに体験入部して地域クラブを理解してもらうなど、地域と学校の連携を促す。として、校長の了解を得て、指導員と学校部活動顧問との積極的な交流をしていただくよう、依頼した。

○委員長

これまでの学校部活動では、大会での勝利を目指して活動してきたが、江南市が目指す地域クラブ活動では、中学校部活動がなくなる場合の生徒の居場所づくりとしていくことを方針としている。その違いをお互いに理解しないと、いつまでも同じような意見が出てくると思う。そのことを教育委員会と学校できちんと説明して行っていただきたい。

○委員

子どもたちには、学校部活動がなくなっても、いろいろな選択肢があることを分かりやすく説明する必要がある。地域クラブ活動や、スポーツに親しむため他の活動場所もあることを伝えていきたい。

○委員

アンケートの中で、行政・学校・指導員の連携が全く取れていない、という意見があったが、学校の先生がまだ地域展開についての情報を掴んでいないと感じる。情報を共有して連携がとれるようにしてほしい。

○委員

子どもの目線で言えば、やはり大会への参加が問題となると思う。勝つという目標以外にもあるが、中小体等の動きや方針を掴むよう働きかけてもらいたい。

全体的には、良い方向に向かっていると思う。

○委員

子どもの居場所づくりに向かっているのだが、子どもや指導員の意識の違いが出ている。一定の方向付けのみに囚われなくてもいいのではないかと思う。勝利を目指すことだけではなく、何か目指すものがないと非常に熱心な指導員の労力は見合ったものになるのか、と感じる。国の考え等も理解しているが、今後の活動を見な

がら、様々な意見を踏まえて検討していければよいと思う。

○委員

真剣に競技に取り組むグループとスポーツに親しむことを目標とするグループの両方があるとよいと思うが、そのことは将来的なことになると思う。

○委員長

やる以上は何か目標を持たないといけない。それぞれの子どもの価値観によって違ってくる。指導員はこれまでのスポーツ経験があるため、勝利という成果を目標とされることが多いと感じる。勝つことに特化してしまうと、参加する生徒に影響が出てくる。学校部活動では、その点を教諭がカバーできていたが、地域の指導員がそこまでできるのか、ということも思う。勝利のみを求めるようになることは怖い面がある。

○委員

大会に出るということは、練習の成果を出すことであり、勝たなければいけないと思うことは違うと思う。難しいと思うが、指導員の価値観がどこにあるのかを共有できれば、問題は起こらないのではないか。

○委員長

この議題についてはこの程度としたい。

議題（3）について事務局から説明をお願いしたい。

議題（3）その他

○事務局

参考資料1、参考資料2により説明

参考資料1は、毎回の推進委員会で報告している、現在、実施中の試行実践の11月29日現在の状況報告をさせていただく。

参考資料2は、11月13日に開催された古知野中学校入学説明会の後、いただいた11件のご意見をいただいた。

ご意見の中で、令和8年4月からの学校の部活動についての意見をいただいた。詳しくは、西浦委員からご説明いただくこととする。

○委員

5中学校の来年度の動きをお知らせする。新1年生の部活動の募集の予定については、西部中・北部中は例年通りの募集をする。古知野中は1学期の新1年生の募集はしない。布袋中も同様の考えである。宮田中も、古知野中・布袋中と同様に考えている。各学校では、生徒とともにこれからの部活動のあり方を考えた結果、生徒を主体とした平日の充実した活動を一体として考えるとともに、教職員の部活動に対する意識の変化を含めて、このような動きとなった。

○委員

中学校ごとに考えが違うことは驚いている。事情が異なるのは理解するが、新1年生の受け皿を用意できないかと思う。

令和8年2学期から、急に地域クラブ活動の開始となると、生徒の準備が難しいと思うので検討していただければと思う。

○委員長

部活動については、市全体が一定の方向ではなく、中学校がそれぞれ主体性を持って考えている。保護者に、その点を理解していただくことが難しいと感じる。

それでは、最後のその他について事務局からお願いしたい。

○事務局

次回、2月開催の推進委員会の日程については、調整してご連絡するので、よろしくお願いしたい。

○委員長

皆様からの貴重なご意見をいただき感謝申し上げます。

これをもって、令和7年度第4回江南市運動部活動の地域展開に関する推進委員会を終了する。